

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330212045	こども生活学Ⅰ Children's Life StudiesⅠ	松井 素子			2	必修	1後期

科目の概要

この科目は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、子どもたちを巡る社会の動向についての基礎知識を得た上で、より良い社会環境について考察できる力を育てることを目的とする（DP②）。人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成のために、特に生活学に基盤を置く（DP③）。学修を通して、子どもたちを巡る社会の動向に関する知識を習得し、より良い保育環境や教育環境を検討することを目的としている。これらの学びを通して、四大精神にもとづくバランスの取れた諸能力と一般的知識・技能を基盤として（DP①、⑤）、保育・教育の現場での実践力を養うことを目指す（DP④）

学修内容	到達目標
① こどもの発達・発育について理解する ② 保育者としてのこどもへの関わり方を知る ③ こども一人ひとりの特性を考慮し、ニーズに応じた対応を検討する	① こどもの発達・発育について述べることできる ② 保育者としてのこどもへの関わり方を説明することができる ③ こども一人ひとりの特性を考慮し、ニーズに応じた対応を具体的に述べることできる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。
	傾聴力	他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

参考文献：学習指導要領 総則・保育所保育指針・幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「こども生活学Ⅰ」は専門科目の共通領域に配置され、「こども生活学Ⅱ」の基盤となる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・学修内容に関して、分からないことや疑問に思ったことがあればオフィスアワーに研究室へ来てください。	・遅刻は授業開始後20分以内とします。 ・欠席した場合は、後日研究室へ来て資料や課題等を受け取ってください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	40	①	✓			（獲得）学習指導要領 総則にある現代の児童の社会状況の理解（30%） （活用）子どもたちの生活の中にある格差をニュースから抽出して考察（30%） （解決）衣・食・住の格差キーワードから教育格差の解決について考える（40%）
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓			（獲得）学習指導要領 総則にある現代の児童の社会状況をディスカッションする（30%） （活用）抽出された子どもたちの生活の中にある格差をニュースから考察し、図や表、写真を用いて表現する（30%） （解決）教育格差の解決についてグループワークにより発表する（40%）
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力）他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①子どもを取り巻く諸問題を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、解決方法を分析することができる。 ②発表において、自分の考えを伝わりやすく述べることができる。 上記をA（優）とし、それ以上の成果が見られる場合にS（秀）とする。	上記のA評価ほどの到達がないとしても、自分なりに精一杯頑張って分析をし、発表することができた場合はB（良）評価とする。 それよりも低い評価の場合はC（可）評価とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 多様な家族	講義 グループワーク	家族が多様であること を認識することができる。	(予習) 「家族」を キーワードとした記事 をリサーチする。 (復習) 多様な家族に ついての理解を整理 し、自分の考えをまと める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	新しい学校の形態「学 びの多様化学校」①	講義 グループワーク	「学びの多様化学校」 の特徴や問題点を考察 することができる。	(予習) 「学びの多様 化学校」について調べ る。 (復習) 「学びの多様 化学校」についてポイ ントを整理し、自分の 考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	新しい学校の形態「学 びの多様化学校」② 家庭の愛情と様々な虐 待①	グループによるパワー ポイントを使った発表 講評 講義	「学びの多様化学校」の 特徴や問題点を考察し、 パワーポイントにまとめ て、共同学習として発表 することができる。 「家庭の愛情と様々な虐 待」の特徴や問題点を考 察することができる。	(予習) 「虐待の種 類」について調べる。 (復習) 「家庭の愛情 と様々な虐待」につい てポイントを整理し、 自分の考えをまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	家庭の愛情と様々な虐 待② 「衣」の格差①	家庭の愛情や様々な虐 待について、その特徴 や問題点を考察し、パ ワーポイントにまとめ て、共同学習として発 表することができる。 「衣」の格差に関する 特徴や問題点を考察す ることができる	家庭の愛情や様々な虐 待について、その問題 点を考察し、パワーポ イントにまとめて、共 同学習として発表す ることができる。 「衣」に関する格差の 特徴や問題点を考察す ることができる。	(予習) 子どもたちの 「衣の格差」について 調べる。 (復習) 「衣の格差」 についてポイントを整 理し、自分の考えをま とめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	特別な支援を必要とす る子どもの発達	講義 グループワーク	特別な支援を必要とす る子どもの発達につい て説明することができる。	(予習) 発達障害につ いて調べてくる。 (復習) 特別な支援の 在り方についてまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	特別な支援を必要とす る具体的な場面での対 応	講義 グループワーク	特別な支援を必要とす る具体的な場面を想定 し、どのように対応す ればよいか説明するこ とができる。	(予習) 具体的な特別 支援の方法について調 べてくる。 (復習) 特別な支援の 仕方について、学修し た知識・技能をもとに ケースに応じた対応策 を検討する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	保育者による関わり方 ①： 排泄・食事・睡眠	講義	こどもの排泄・食事・ 睡眠の仕組みを説明す ることができる。	(予習) こどもの排 泄・食事・睡眠につい て調べる。 (復習) こどもの排 泄・食事・睡眠につい てポイントを整理して まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	保育者による関わり方 ②： 衣服の着脱・清潔・運 動機能	講義	衣服の着脱・清潔・運 動機能の仕組みを説明 することができる。	(予習) こどもの衣服 の着脱・清潔・運動機 能について調べる。 (復習) こどもの衣服 の着脱・清潔・運動機 能についてポイントを 整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	保育者による関わり方 ③： 表現活動・人とかかわり・言葉の獲得・概念の形成	講義	表現活動・人とかかわり・言葉の獲得・概念の形成を説明することができる。	(予習) こどもの表現活動・人とかかわり・言葉の獲得・概念の形成について調べる。 (復習) こどもの表現活動・人とかかわり・言葉の獲得・概念の形成についてポイントを整理してまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	乳幼児に必要な栄養素	講義 グループワーク	乳幼児に必要な栄養素について説明することができる	(予習) 五大栄養素の働きとその特徴について調べる。 (復習) 乳幼児に必要な栄養素についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	食育	講義 グループワーク	食育の意義について説明でき、こどもの食の健康を促進するための方法を検討することができる。	(予習) 食育について調べる。 (復習) こどもの食の健康を促進するための方法を検討することができる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	年中行事	講義 グループワーク	こどもの成長に関連する年中行事について説明することができる。	(予習) 年中行事について、事前に配布したワークシートを用いた調べ学習をする。 (復習) こどもの成長を考えた年中行事の活動を考案することができる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	こどもを育てる保育施設	講義	保育施設の特徴とその意義について説明することができる。	(予習) こどもを育てる保育施設について調べる。 (復習) こどもを育てる保育施設についてポイントを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	こどもに関する法律	講義	こどもを育てる保育施設について説明することができる。	(予習) こどもに関する法律について調べる。 (復習) こどもに関する法律についてポイントを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド：まとめ	動画視聴 Google Formsによる回答	これまでの学修を振り返り、こどもの発達を考慮した接し方を選択することができる。	(予習) これまでの学修を振り返る。 (復習) こどもの発達を考慮した接し方を選択することができる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力